

12/21

長年の感謝を込めて クレパス画贈呈



令和2年3月をもって解散となった一般財団法人佐武会が、法人化の立ち上げから長年の財団活動でお世話になった鳥取県教育委員会に感謝

の気持ちとしてクレパス画を贈呈されました。贈呈された作品は、日本芸術院会員で東京芸術大学名誉教授の絹谷幸二画伯に、特別に依頼をして描いていただいたクレパス画「Venezia 炎々」です。今後、この作品は、県教育委員会に披露された後、現代作家のクレパス画を収集し、佐武会とのゆかりも深い日南町美術館に寄託され、広く県民に公開される予定です。

12/14

「命」について綴る

公益社団法人全国学校図書館協議会・毎日新聞社主催の「第66回青少年読書感想文全国コンクール」の県審査特別賞作品において日南小学校4年生の前田夏帆さんが毎日新聞鳥取支局長賞を受賞されました。前田さんは、「いのちのおはなし」（日野原重明・文／村上康成・絵）という本に出会い、「命」について感じたことを綴っています。受賞について「まさか選ばれるとは思っていなかったのが嬉しい。これからも命と時間を大切に使いたい」と話されました。



1/19

郷土料理がつなぐ 人と人とのつながり



日南町食育推進協議会が令和2年度食のみやことっとりキラリと光る食育推進活動第9回知事表彰を受賞

され、会長の七瀬寿恵さんと副会長の佐藤美幸さんが表彰式に参加されました。同協議会は時代の流れとともに郷土料理を知らない世代が増えている中で身近に感じてもらうため『にちなんの邑の味』を作成しました。冊子を活かした推進活動は、世代間交流のきっかけとなり、「人と人とのつながり」が生まれる取り組みとなっています。『にちなんの邑の味』は福祉保健課で受け取ることができ（数量限定）、町ホームページにも掲載されています。

1/17

無病息災を願って 「霞のどんどさん」

日南町指定無形民俗文化財の伝統行事、「霞のどんどさん」が行われました。竹組の塔にはお守りの猿の人形やお菓子がくくられており、一番上にくくられている大きい人形は「天下のさる」と呼ばれ、これを捕ると今年1年間無病息災だと言われています。今年は山田和也さんが「天下のさる」を獲得し「良い一年になれば」と話されました。



1/26

J-クレジット 売買契約を結ぶ

1月26日、株式会社ヒノコンサルタントと日南町においてJ-クレジットの売買契約が行われました。調印式には、同社松本義政代表取締役、同社とのマッチングを行った山陰合同銀行今井信行米子東支店長、三嶋秀己生山支店長が出席されました。



J-クレジット制度とは

J-クレジット制度とは二酸化炭素の削減量・吸収量を認定し売買を可能とした制度です。日南町では、林業振興や環境保全、生態系の維持を目的に平成25年から国によるJ-クレジット制度を取得し、県内外の多くの企業に販売しています。購入側は企業活動等において排出されたCO2を、他の場所の吸収・削減量で埋め合わせで相殺する『カーボンオフセット』契約を結ぶことができるなど、環境貢献企業としてのPR効果だけでなく日本各地の森林保全活動や中小企業等の省エネ活動を後押しすることができます。

